



教育目標～夢をもち 心豊かに ともに未来を切り拓く～

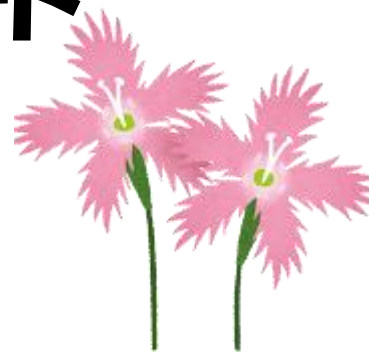


令和4年(2022年)8月25日
豊中市立北丘小学校
学校だより NO. 8

きたおか



2学期のスタート



5週間の夏休みを終え、寂しくなっていた学校に、こどもたちの元気な笑顔と声が戻ってきました。

1学期の終業式にお話したように、時間を大事にして悔いのない夏休みになったのでしょうか？きっと思い出がたくさんでき、心も体もぐっと成長していることでしょう。これからのこどもたちの活躍が楽しみです。

この夏休みは、新型コロナウイルスの第七波ということで、行動制限はなかったものの、一人ひとりが自覚を持つての行動を必要とされました。全国的にも感染者数が高止まりのままの新学期のスタートとなりましたが、教職員一同新たに気を引き締めて、感染防止対策と教育活動の推進の両輪で頑張っています。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

熱中症予防とコロナ感染防止対策

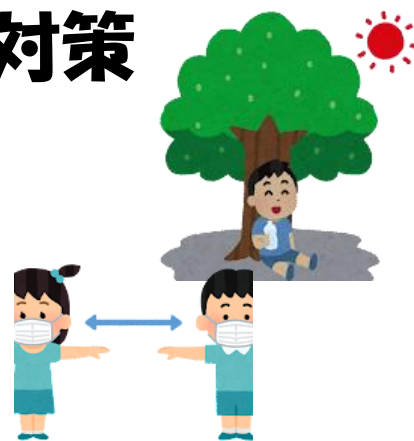
しばらく危険な暑さが続くと思われます。

学校の熱中症計で WBGT(暑さ指数)が「危険」値を示した場合は、学習活動の場所の考慮や時間制限をしながら行っていきます。毎日水筒を忘れないようにお願いします。また、帽子以外にも日傘も有効です。暑さ対策をよろしくお願いいたします。

コロナ感染防止に関しましては、再度基本に立ち返り感染防止の徹底を図る必要があります。

お子様本人に発熱等、かぜ症状がみられる場合や、お子様本人または同居家族が PCR 検査等を受けることになった場合は、登校を控えてください。正しいマスクの着用、手洗いなど日々の感染対策に加えて、登校前の健康観察を丁寧に行ってください、引き続きのご協力をお願いします。お子様本人が PCR 検査等を受けることになった場合や検査結果が判明した場合には、速やかに学校へ連絡をお願いします。(土日等に判明した結果や土日等の PCR 検査受検の報告等は、月曜日など次の平日の報告で差支えございません。)

マスクを外して登下校したり、外で遊んだりする時には、おしゃべりしないことやお友だちとの距離を保つことに注意してほしいと思います。学校においても、感染防止対策の徹底に努めます。



和太鼓クラブ 敬老の集い事業 CATV へ出演

コロナ前は、本校体育館で行われていた豊中市社会福祉協議会主催の「敬老の集い」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「テレビで敬老の集い」と題した番組をCATV(ケーブルテレビ)で放送する取り組みを行うことになり、そこへ、北丘小学校の「和太鼓クラブ」が出演することになりました。夏休み中も、第2音楽室で練習に励み、8月30日に本校にて撮影があります。「北丘小学校和太鼓クラブのお祝いパフォーマンス」としての演奏、楽しみですね！複数回放送されますので、視聴可能な場合にはぜひ、ご覧になってみてください！



＜番組放送日時＞

敬老の日

9月13日(火)15:00	9月14日(水)12:00
9月15日(木)15:00	9月16日(金)9:00/12:00
9月17日(土)9:00/15:00	9月18日(日)9:00/12:00
9月19日(月)12:00	9月20日(火)15:00
9月21日(水)20:00	9月22日(木)15:00
9月23日(金)15:00/20:00	9月24日(土)9:00/12:00
9月25日(日)12:00/15:00	9月26日(月)20:00



聴いて 考えて つなげる



新学習指導要領では、子どもたち一人ひとりが学習の主体となる授業を求めています。

そして、グローバル化した社会の中で、これからの時代を生きる子どもたちが必要とする力は、「何を理解して、何ができるか」に加えて、「理解していることやできることをどう使うか」ということ、学んだことをもとにして深く考え、「どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか」(Well-Being)である、と述べられています。

そのためには、汎用的な力を学校の普段の授業から育てていくことが大切です。授業の基盤となるのが「聴く」ことです。「聴く」ことにより相手や友だちとの「対話」が成立します。そのためには「あたたかい聴き方」が重要となります。さらに相手や友だちに聴いてもらうためには「やさしい話し方」も重要となります。

八中校区では、この「あたたかい聴き方」と「やさしい話し方」を小中一貫(小中接続)で小学校1年生の時から中学校3年生まで通して大切に取り組んでいます。「聴いて 考えて つなげる」授業とは、人の話を「聴き」、それをもとに「考え」、さらにそこで考えたことを子どもたちどうしがほかの人の話や考えを「つなげる」ことで他者と関わり合い、学級の中で協働して考える授業です。

どうして「聴いて 考えて つなげる」授業が大切かということ、「対話」によって、子どもたち自身が相手や友だちの反応を通して振り返り、再考できるからです。これは、自分を客観視(メタ認知)することになります。自分を客観視(メタ認知)することで、より良い自分に変われるヒントを得、実行できるようになる、このような力を育てることは、これからの社会そのものが変化していく中で重要なものであると考えられるからです。